

骨軟部組織腫瘍科

○ 骨軟部組織腫瘍科の概要

1. 骨軟部組織腫瘍科の特色

骨軟部腫瘍、転移性骨腫瘍など整形外科関連の腫瘍を扱う。これらは比較的稀な疾患であり、専門に診療する医師も少ない。また転移性骨腫瘍においてはこれら他科腫瘍の知識も必要である。加えて診療、治療においても他科の知識および共同作業が必要になる。これらを一般病院で習得することは極めて困難であり、大学病院、がんセンターなど専門施設で行うのが最も効率が良い。当科は埼玉県西部では唯一の骨軟部腫瘍専門診療科であり、多くの患者に接しながら多くの体験が得られる。

診断は病理医、放射線診断医との協議し、治療法はもちろん外科治療にかたよらず、腫瘍内科、小児腫瘍科、放射線治療科等と共同して行う。外科治療においては消化器外科、呼吸器外科、形成外科、泌尿器科など他科の共同作業も多い。治療の意義を十分に理解実行し、その結果を鑑みて、さらに治療法を改善していく姿勢も学んで欲しい。研修医の先生には、まず講義を通して基礎知識を得て、そして実践でそれらを体験してもらい、その体験から学会発表、論文作成を通して、自分の考えを整理創造行く習慣付けて頂きたい。

2. 診療実績（平成 28 年）

疾患登録数	593 件
入院患者数	203 人
手術数	174 件
悪性腫瘍手術数	65 件

3. 診療・教育スタッフ

矢澤 康男（教授・診療部長）：骨軟部腫瘍、転移性骨腫瘍、画像診断
鳥越 知明（准教授・外来医長）：骨軟部腫瘍、骨再建術、ナビゲーションを用いた手術
今西 淳悟（講師・病棟医長）：骨軟部腫瘍、バイオメカ

4. 研修責任者と臨床研修指導医、上級医（指導者）

研修責任者：矢澤 康男（診療部長）
臨床研修指導医：矢澤 康男、今西 淳悟
上級医（指導者）：鳥越 知明

5. 臨床研修プログラムの特色

まず臨床にある程度経験をしていただく。次に講義を受けて臨床内容を理解する。さらにカンファレンスを通して問題点を認識し、自分から考える習慣を付ける。さらに学会報告、論文を作成して自ら考え自己研鑽出来る医師となることを目標とする。

6. 経験目標・到達目標

一般目標（G10）

骨軟部腫瘍について各疾患概念、治療法について述べる事ができる。
骨軟部腫瘍の典型例での診断ができる。
骨軟部腫瘍以外の鑑別疾患を上げることができる。
自ら考え、学会報告、論文を作成できる。

行動目標（SB0s）

1ヶ月間研修の習得目標

1. 骨軟部腫瘍のレクチャーコースを受ける。
2. 骨軟部腫瘍の患者に接する。
3. 骨軟部腫瘍の手術に参加する。
4. 骨軟部腫瘍のカンファレンス・研究会に参加する。
5. 抄読会に参加する。

2ヶ月目以上研修の習得目標

1. 外来新患患者の診察に参加する。
2. 画像を読んで鑑別を述べる。
3. 治療方針を作成する。
4. 病理カンファレンスで症例を呈示する

5. 手術参加（助手として）10 件以上。
6. 学会・研究会で症例報告をする。

7. 週間スケジュール

月曜 午前 病棟 午後 外来
火曜 午前 カンファレンス 午後 外来
水曜 午前 外来 午後 病理カンファレンス リハビリカンファレンス
木曜 午前 病棟 午後 病棟
金曜 午前 手術 午後 手術
土曜 午前 自由ディスカッション（研究会）

8. 研修に関する問い合わせ先

〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1
埼玉医科大学国際医療センター 包括的がんセンター
骨軟部組織腫瘍科・整形外科 矢澤 康男（診療部長、教授）
TEL：042-984-4111（代表）
E-mail：yyazawa@saitama-med.ac.jp